

ヨコハマ 議会 だより

令和8年第2回市会定例会号
発行 令和8(2026)年8月

横浜市会議会局

〒231-0005横浜市中区本町6-50-10

TEL 045-671-3040

FAX 045-681-7388

<https://www.city.yokohama.lg.jp/shikai/>



一般質問(5月22日)

令和8年第2回市会定例会が、5月15日から6月5日まで開催されました。(2面及び3面に、一般質問の一部を掲載しています)

市が原案を策定

原案

原案の策定までには、パブリックコメントに加え、市会でも本会議や常任委員会で質疑を行ってきました。



議案として
市会に提出

5月20日

質疑
(本会議)

第2回市会定例会

基本計画特別委員会

5月26日 議案審査



市民生活が
どう変わる?

5月28日～6月2日 分科会



取組の
進め方は
適切か?

6月4日

委員会採決

6月5日

討論・議決
(本会議)

附帯意見付きで可決

中期計画の方向性や各政策分野の目指す姿などに関して、質疑等が行われました。

議長就任の御挨拶(5月15日 本会議において選任)

このたび第56代議長に就任し、身の引き締まる思いであります。

社会の変化が速く、先を見通しにくい時代だからこそ、皆様の声を大切にしながら、持続可能で誇りある横浜を目指してまいります。

各会派や議員の声に耳を傾け、公正で円滑な議会運営に努め、市民の期待に応えられる市会を実現してまいります。



第56代横浜会議議長
渡邊 忠則

基本計画特別委員会 横山委員長から一言

本委員会では、市の向こう4年間分の羅針盤となる中期計画原案について、市民生活に本当に役立つ内容になっているかはもちろん、実現性や優先順位、その効果などの観点から幅広く議論できました。

現時点での瞬間風速的な課題についての議論ではなく、市民の声も踏まえ4年間分の課題を確認し必要な意見を伝えるなど、計画に基づいたより効果的な施策の推進につながる議論になりました。

今回可決された中期計画が上位計画となり、市の事業や市民の皆様への身近な行政サービスが実施されていきます。



花上 喜代志 横山 勇太郎 望月 康弘
副委員長 委員長 副委員長

第2回 市会定例会概要 | 5/15・6/5 | 会期22日間 |

主な流れ

5月15日 本会議(第1日)

- 役員改選・議長の選挙・議案の上程・議決

5月18日～19日 常任委員会

- 事業概要

5月20日 本会議(第2日)

- 議案の上程・質疑・常任委員会への付託
- 基本計画特別委員会の設置・付託

5月20日 基本計画特別委員会

- 運営方法等協議

5月22日 本会議(第3日)

- 一般質問(→2、3面へ)

5月26日 基本計画特別委員会

- 議案の審査

5月28日～6月2日 常任委員会・基本計画特別委員会分科会

- 議案等の審査
- 次期中期計画議案の審査

6月4日 基本計画特別委員会

- 採決

6月5日 本会議(第4日)

- 議案の議決

市会で横浜の未来をつくる

基本計画特別委員会の開催

2026年度からの市の施策の方向性を定める「横浜市中期計画2026～2029」を審査するため、全議員から成る「基本計画特別委員会」が設置、開催されました。

基本計画特別委員会の役割

市が中期計画の原案を提出した後、市会では全議員参加の委員会と、所管事項に応じた8つの分科会に分かれての審査をそれぞれ行います。

委員会や分科会での積極的な議論を通じて、計画の質を高め、今後の施策に生かされるようチェックする役割を担っています。

5月26日には議案の審査が行われました

中期計画の方向性や、防犯、防災、子育て支援、教育環境の充実、経済・観光、まちづくりなど各政策分野に関する質疑から、政策の土台となる行財政運営まで、計画の原案について質疑が行われ、市長等から答弁がありました。

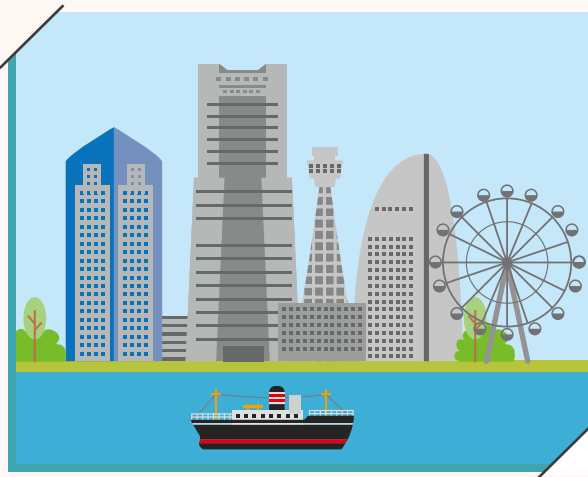
質疑の様子は市会ウェブサイトから御覧ください。

市会インターネット中継▶



中期計画2026～2029とは

2040年頃の横浜のありたい姿として、都市像『明日をひらく都市』を継承し、現状の課題解決に取り組みながら、『市民生活の安心・安全』と『横浜の持続的な成長・発展』を目指す、市の新たな中期計画です。



31件の議案が可決されました

可決

された
主な議案

●横浜市乗合自動車乗車料条例の一部改正

市営バスネットワークを将来にわたり維持していくため、早急な経営改善が不可欠であることから、市営バスの運賃を改定するための条例の一部改正を行いました。

●横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例の一部改正

現在喫煙禁止となっていない道路等を禁止場所として定めるとともに、「分煙環境の整備の推進」を市の責務に追加しました。

●横浜市防犯のまちづくり推進条例の制定

誰もが安心して安全に暮らすことができる社会の実現に向け、市の責務や市民・事業者等の役割を明確にするとともに、防犯のまちづくりを総合的かつ計画的に進めていくための基本事項を定める条例を制定しました。

※各議案に対する各会派の賛否一覧は3面を御覧ください。

一般質問から

5月22日の本会議(第3日)において、市政全般に関する方針や事業などについて、各会派を代表して12人の議員が「一般質問」を行いました。その中から13項目を抜粋して掲載します。

【自民党】4問 ●横浜グリーンエクスポ ●多文化共生の再考 ●ホルムズ海峡封鎖に伴う資機材不足等による公共工事への影響 ●中学校給食	【維新会】2問 ●日本丸メモリアルパーク ●GPS端末を使用した子どもの見守り
【公明党】2問 ●循環型都市への移行 ●グローバル・AI時代における子ども一人ひとりに寄り添う学びの環境づくり	【国民主】1問 ●パワーハラスメント
【立憲党】2問 ●保育資源の再編と発想の転換 ●新横浜駅周辺のまちづくり	【共産党】1問 ●自衛官募集への個人情報提供の中止
	【トモイ】1問 ●市長の政治姿勢

環境 横浜グリーンエクスポ 自民党

問 横浜グリーンエクスポの来場者輸送の取組について、これまでも我が党としては最重要課題と捉え、要望してきました。一人でも多くの方々に何度も会場へ足を運んでいただくためには、会場へのアクセス手段をしっかりと整えておくことが不可欠です。来場者輸送の準備状況について伺います。

答 2月に来場者輸送実施計画第2版が公表された後も、シャトルバス発着4駅における乗車動線の確保、警備誘導体制、ターミナル駅から直行バスの運行、駐車場の運用などについて、関係機関と精力的に調整を重ねています。具体的な内容は、節目節目において情報共有していきます。

環境 循環型都市への移行 公明党

問 2040年までの循環型都市への移行を実現するには、環境施策だけでなく、福祉、教育、まちづくり、経済政策など関連する取組を一体の政策として戦略的かつ横断的に推進することが重要で、市長の明確なビジョンに基づく強いリーダーシップが不可欠です。横浜が循環型都市となり、次世代が住み続けたいと思える都市となるための市長の決意を伺います。

答 将来にわたって人や企業から選ばれ続けるためには、経済発展と自然共生が両立した循環型都市となることが必要不可欠です。国内有数の経済規模や、全国最多の人口を有しながら、農・緑などの豊かな自然も併せ持つ横浜の強みや特性を生かして、生産・消費・再資源化などあらゆるフェーズで取組を進め、アジアを代表する循環型都市を目指します。さらに、これらの取組を世界に発信し、国際的に評価されることで、シビックプライドの醸成へつなげ、次世代に住み続けたい都市と思われるよう、取組を進めます。

行政運営 市長の政治姿勢 トモイ

問 8年3月18日の総合審査での他議員による市長のパワハラ疑惑への市長答弁は、市議会基本条例第14条にある市長の誠実答弁義務に反すると判断し、私はその場で指摘しました。条例が定める誠実答弁義務という制度原則を、市長がどう理解しどう果たすのか伺います。

答 議会又は議員の皆様から説明の求めがあったときは、誠実に対応すべきものと理解しています。独立対等の立場で互いに尊重しながら、それぞれの役割を果たすという二元代表制の趣旨を踏まえて、これまでも誠実に対応してきましたが、先日いただいた市会運営委員会からの申し入れを受け止め、今後も適切に対応していきます。

行政運営 パワーハラスメント 国民主

問 市長によるパワハラが疑われる言動について、現在第三者による調査が行われていますが、調査を進めるにあたって、市コンプライアンス委員会を開催している趣旨について、総括コンプライアンス責任者である副市長に伺います。今回の案件は、市役所全体のパワハラ防止の機運醸成にも大きく影響を及ぼすものと思います。客観性・透明性を確保した形で真相が究明されることを要望します。

答 第三者による調査は、市会における決議も踏まえ、総括コンプライアンス責任者の下で対応しているものです。市コンプライアンス委員会は、県弁護士会への調査委員の推薦依頼など、第三者による調査の実施に向けた対応や、職員への周知等に関する事項について、総括コンプライアンス責任者の下で市内部の情報共有を図る場として、適宜開催しています。

共生社会 多文化共生の再考 自民党

問 国が発表した「外国人の受入れ・秩序ある共生のための総合的対応策」では、外国人の受入れにあたり、国民が感じている不安や不公平感に対処する必要がある、という考えのもと、秩序の観点が強く打ち出されました。市はこれまで外国人支援を積み重ね、外国人コミュニティの方々が地域との共助の活動を行ってきた歴史もあります。一方でルールを守らない一部の外国人によって誤解や分断が生じることは避けなければならない、共生社会の実現には秩序と自立が必要と考えます。

答 誰もが安心して安全に暮らすためには、地域にお住いの皆様一人一人が、地域社会の一員としてルール・マナーを尊重し、相互理解のもとで行動していただくことが大切です。共生社会の実現に向け、今後も生活ルールや就労に必要な情報提供、相談対応等を、一層推進していきます。

プライバシー 自衛官募集への個人情報提供の中止 共産党

問 市が自衛隊に自衛官募集に係る個人情報を提供している現状について、我が党は毎年中止の申入れをしています。本人同意がなく、法的根拠が曖昧であり、プライバシー権保護の観点からも懸念があります。他都市の状況や訴訟の動きも踏まえ、名簿提供を中止すべきです。

答 自衛官募集のために必要な情報を自衛隊へ提供する事務は、自衛隊法や同施行令に基づく法定受託事務です。なお、令和6年から、自衛隊への情報提供を望まない方から「除外希望のお申出」を受けた場合は、情報提供していません。今後とも法令に基づき適切に事務を進めていきます。

子供 保育資源の再編と発想の転換 立憲党

問 最近は年齢や地域による保育資源の需給の偏りが課題となっています。そのため、既存資源の多機能型への変更や柔軟な組替え、8年度予算化されたベビーシッターを活用する試行的事業のような新たな手法も、安全性と質の担保を前提に活用していく必要があります。少子化が進む中で偏在するニーズに対応するためには、施設を増やすのではなく既存資源を最大限活用するとともに、新たな民間サービス等も活用すべきと考えます。

答 保育ニーズの変化に合わせ、既存資源を最大限活用する視点が重要です。引き続き、ニーズに応じて柔軟に施設定員の見直しや施設の多機能化を進めるとともに、民間の多様なサービスも活用していきます。また、新たな取組として評価が高い商業施設や市庁舎等での預かり、多機能化が難しい病児保育については、新設も含め、提供体制の充実を図っていきます。

公共工事 ホルムズ海峡封鎖に伴う資機材不足等による公共工事への影響 自民党

問 中東情勢の先行きが見通せない中で、公共工事の進捗ひいては市民生活への影響を懸念しています。我が党は、市発注の公共工事において資機材等の価格急騰を迅速かつ適切に工事価格に反映することや、調達遅延に対応した適切な工期の確保について、市長に要望書を提出しています。公共工事を引き続き円滑に推進していくためにどのような姿勢で臨むのか伺います。

答 社会情勢を的確に把握し、スピード感を持って、状況に応じた対策を講じていくことが重要と考えています。工事を実施する建設事業者の皆様と、丁寧な協議を行いながら、資機材価格の上昇を反映した工事価格の変更を行うスライド制度の緩和や、資機材の調達時期を踏まえた工期の変更など、工事関連制度を柔軟に運用し、公共工事を円滑に進めていきます。

まちづくり 新横浜駅周辺のまちづくり 立憲党

問 新横浜駅周辺は、交通結節機能の強化でポテンシャルが高まる一方、滞在機能の不足やイベントがない日のにぎわい創出が課題です。新図書館整備を契機に、新横浜駅北口周辺の集客効果が高まるように、にぎわい機能の誘導にしっかりと取り組むべきと考えます。

答 商業やサービス施設、企業の技術を体験できるショールームなどを、建物の低層部に配置することで、幅広い世代が歩きながら楽しめる空間を創出していきます。これらの用途の導入を進めるため、容積率の緩和など土地利用規制を見直すことによって、日常的なにぎわいづくりに取り組んでいきます。

文化 日本丸メモリアルパーク 維新会

問 帆船日本丸は、多くの実習生を育て、引退後は横浜に誘致され国の重要文化財に指定されました。歴史的価値も高く、2030年に船齢100歳を迎えます。この節目に向けて周年事業を計画的に進めるとともに、次世代に美しい姿をどう継承していくかという視点での保存計画の見直しが必要と考えます。船齢100歳以降の保存や活用の方向性について伺います。

答 国の重要文化財である帆船日本丸は、市を象徴する存在であり、その歴史的・文化的価値を将来にわたり継承していくことが重要です。今後の保存・活用の検討にあたっては、これまでの保存活用計画の考え方や手法も参考にしながら、文化庁をはじめとする関係機関の専門的知見も取り入れ、中長期的な視点で適切に取り組んでいきます。



帆船日本丸

教育 中学校給食 自民党

問 市こども・子育て基本条例でも定めっているとおり、子供たちから直接意見を聞くことは極めて重要です。中学校給食導入の背景を生徒に丁寧に説明するとともに、生徒の満足度を客観的な指標で測定し、改善のサイクルを回すべきです。より満足度の高い給食の提供に向け、生徒の意見を定量的に把握する方法も含め調査すべきと考えます。

答 これまでも、市栄養士による学校訪問で直接生徒の意見を聞くほか、新メニューの開発過程へ生徒を参加させるなど、生徒の意向の反映に努めてきました。今後は、これらの取組を一層推進するとともに、生徒の意見を効果的に把握する方法を検討し、より満足度の高い給食の提供を目指していきます。

教育

グローバル・AI時代における 子ども一人ひとりに寄り添う学びの環境づくり

公明党

問 グローバルAI時代を見据え、子供たちが世界で活躍していくためには、英語力に加え、多様性を理解し協働できるコミュニケーション力が不可欠です。市では小学生から国際理解教室を展開するなど、多様な価値観を持つ相手と交流できる様々なプログラムを実施しています。子供たちが英語でのコミュニケーションを楽しみ、ミスを恐れず、自信を持って異文化を受け入れる器を育ててほしいと考えます。異文化コミュニケーション力の育成に向けた今後の展開について伺います。

答 子供たちが異文化と出会う意欲を高め、異なる背景を持つ人々と合意形成を図る力の育成を目指していきます。そのため新たに、オンラインを活用しAET(※)から授業を受ける機会を増やす、英語を駆使して活躍する企業人と中学生が英語でキャリアについて対話をする「イングリッシュ・インターン」の取組も始めています。子供たちが異文化に飛び込む不安を乗り越え、チャレンジしていけるよう、多様な体験機会の充実を図ります。

用語解説

AET(エーイーティー)(文中の _____(※)で表示)

Assistant English Teacherの略で英語指導助手のこと

子供

GPS端末を使用した子どもの見守り

維新会

問 学校・地域・家庭が一体となった顔の見える見守りにICT技術を掛け合わせることで、より強固な安全網が構築できると考えます。子供の位置情報や行動履歴を保護者のスマートフォン等で確認できる、多機能な小型のGPS端末は、学校の負担を増やすことなく、安全網を劇的に広げられるツールです。子供の安全対策の一つとして、市も導入支援について検討すべきと考えます。

答 子供の見守りについて、ICTを活用した技術開発は加速し、その普及が進んでいますので、端末などの手段と手法を、どう効果的に組み合わせるか、地域の見守り活動の状況なども踏まえ、検討していきます。

議案に対する各会派の賛否一覧

令和8年 第2回市会定例会 ○は賛成、×は反対、－は欠席

議員別の賛否一覧及び議案の内容については、市会ウェブサイトをご覧ください。



		議 案 名	自 (31)	公 (15)	立 (10)	維 (8)	国 (6)	共 (5)	よ (2)	太 (1)	井 (1)	市 (1)	斉 (1)	無 (1)	風 (1)	ゆ (1)	え (1)	ト (1)	議 決 結 果		
市長提出議案	条例の制定	●防犯のまちづくり推進条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	－	○	○	可決		
	条例の改正	●市税条例等の一部改正についての専決処分報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	承認	
		●区民文化センター条例の一部改正●空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例の一部改正●市営住宅条例の一部改正●改良住宅条例の一部改正●地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正●消防団員賞じゅつ条例の一部改正●市立学校条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	可決	
		●市税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
		●行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に関する条例の一部改正●公園条例の一部改正●水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
		●乗合自動車乗車料条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	－	○	○	可決(※)
		その他の議案	●峰沢第337号線等市道路線の認定及び廃止●消防訓練センター訓練施設整備工事(救助訓練塔建築工事)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
	●下水道使用料の減免適用解除処分に係る審査請求に関する諮問(第1～3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	－	○	○	賛成のない旨を答申
	●特定公園施設の取得		○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
	●中期計画2026～2029の策定		○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	－	○	○	可決(※)
人事議案	●教育委員会委員の任命●人事委員会委員の選任●中央農業委員会委員及び南西部農業委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	同意	
	●監査委員の選任	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	同意		
議員(委員会)提出議案	条例の改正	●横浜市委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	その他の議案	●特別委員会の委員の定数の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	意見書の提出	●中東地域をめぐる情勢を踏まえた対策を求める意見書(総務委員会)●地方財政の充実・強化を求める意見書(総務委員会)●脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書(福祉委員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
●皇室の伝統を踏まえた安定的な皇位継承の確保に向けた国会論議の促進を求める意見書(総務委員会)		○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	－	○	○	可決	
会派別議員(一覧(令和8年6月5日現在))	自由民主党横浜市会議員団(自)31人																				
	●青木 亮祐 ●東 みちよ ●伊波俊之助 ●磯部 圭太 ●おさかべさやか																				
	●大桑 正貴 ●鴨志田啓介 ●川口 広 ●黒川 勝 ●小松 範昭																				
	●佐藤 茂 ●佐藤 祐文 ●酒井 誠 ●清水 富雄 ●渋谷 健																				
	●白井 亮次 ●鈴木 太郎 ●瀬之間康浩 ●関 勝則 ●田野井一雄																				
	●長谷川琢磨 ●福地 茂 ●伏見 幸枝 ●藤代 哲夫 ●増永 純女																				
	●松本 研 ●山下 正人 ●山田 一誠 ●横山 正人 ●横山勇太郎																				
	●渡邊 忠則																				
	公明党横浜市会議員団(公)15人																				
	●安西 英俊 ●市来栄美子 ●尾崎 太 ●木内 秀一 ●行田 朝仁																				
●久保 和弘 ●斉藤 伸一 ●高橋 正治 ●竹内 康洋 ●武田 勝久																					
●竹野内 猛 ●中島 光徳 ●仁田 昌寿 ●福島 直子 ●望月 康弘																					
立憲民主党横浜市会議員団(立)10人																					
●越久田記子 ●大岩真善和 ●かざまあさみ ●高田 修平 ●中山 大輔																					
●花上喜代志 ●藤崎浩太郎 ●麓 理恵 ●森ひろたか ●谷田部孝一																					
日本維新の会横浜市会議員団・無所属の会(維)8人																					
●いそべ尚哉 ●伊藤くみこ ●大山しょうじ ●柏原すぐる ●くしだ久子																					
●坂井 太 ●田中 紳一 ●山浦 英太																					
国民民主党横浜市会議員団(国)6人																					
●熊本ちひろ ●こがゆ康弘 ●坂本 勝司 ●深作 祐衣 ●二井くみよ																					
●横溝じゅん子																					
日本共産党横浜市会議員団(共)5人																					
●宇佐美さやか ●大和田あきお ●白井 正子 ●古谷 靖彦 ●みわ智恵美																					
地域政党よこはま横浜市会議員団(よ)2人																					
●関 高史 ●山田桂一郎																					
自由民主党太田正孝(太) ●太田 正孝																					
井上さくら(井) ●井上さくら																					
市民の党 日本(市) ●梶村 充																					
斉藤達也(斉) ●斉藤 達也																					
無所属(無) ●興石かつ子																					
横浜の風(風) ●荻原 隆宏																					
田中ゆき(ゆ) ●田中 ゆき																					
長谷川えつこ(え) ●長谷川えつこ																					
大野トモイで自由と民主主義を守り立憲主義を実践する会(ト) ●大野トモイ																					

※附帯意見を付けて可決

可決

市に深い関わりのある事柄について、国会及び国や県などに対して意見書を提出することで、市会としての意思を表明しています。

●

皇室の伝統を踏まえた安定的な皇位継承の確保に向けた国会論議の促進を求める意見書(要旨)

国におかれては、安定的な皇位継承の確保に向け、これまでの議論の蓄積及び有識者会議の報告書を踏まえ、皇族数の確保に関する方策を含めた諸課題について、建設的かつ集中的な議論を推進し、国民的理解を得ながら検討を進めるよう要望する。

●

中東地域をめぐる情勢を踏まえた対策を求める意見書(要旨)

国におかれては、市民生活の安定と安心を確保する観点から、次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

- 中東情勢の緊迫化に伴う原油・エネルギー価格の変動が市民生活及び地域経済に与える影響を十分に注視し、原油価格、電気・ガス料金等の高騰抑制に向け機動的かつ継続的な対策を講ずるとともに、負担軽減策を切れ目なく実施すること。

他4項目

●

地方財政の充実・強化を求める意見書(要旨)

国におかれては、令和9年度の政府予算及び地方財政の検討に当たり、次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

- 社会保障の充実、地域活性化、DX化、脱炭素化、物価高騰対策、教育、防災減災、地域公共交通の再構築など、行政需要を的確に把握し、物価及び賃上げの動向を踏まえた人件費を確保しつつ必要な地方財源の確保充実を図ること。

他6項目

●

脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書(要旨)

国におかれては、公平性と透明性の高い自賠責保険の後遺障害等級の認定体制を整備し、被害者救済の理念が十分に発揮されるよう次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

- 自賠責保険の脳脊髄液漏出症に関する後遺障害等級の認定手続として、高次脳機能障害と同じように、専門医による認定システムの仕組みを構築すること。

他1項目

※自民党…自由民主党横浜市議員団 公明党…公明党横浜市議員団 立憲党…立憲民主党横浜市議員団 維新会…日本維新の会横浜市議員団・無所属の会 国民民主…国民民主党横浜市議員団 共産党…日本共産党横浜市議員団 トモイ…大野トモイで自由と民主主義を守り立憲主義を実践する会

3

常任委員会

執行機関の仕事について、8つの委員会がそれぞれ所管する局ごとに審査します。

◎…委員長 ○…副委員長 ◇…理事 (令和8年7月10日現在)

総務委員会

重要政策の立案・調整、市政運営の基本方針、国際政策、危機管理、行政改革、横浜国立大学、財務、デジタル化の推進などの仕事について審査します。



◎大桑 正貴
(自民党・南区)



○竹内 康洋
(公明党・神奈川区)



○大岩 真善和
(立憲党・旭区)



黒川 勝
(自民党・金沢区)



山下 正人
(自民党・青葉区)



横山 正人
(自民党・青葉区)



仁田 昌寿
(公明党・南区)



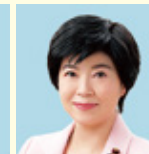
藤崎 浩太郎
(立憲党・青葉区)



くしだ 久子
(維新会・旭区)



こがゆ 康弘
(国民主・旭区)



井上 さくら
(井上さ・鶴見区)

経済港湾委員会

にぎわい創出、観光・MICE振興、スポーツ振興、文化振興、企業の誘致、中小企業の経営支援、雇用・就業対策、消費生活、港湾施設の整備、港の振興などの仕事について審査します。



◎行田 朝仁
(公明党・青葉区)



○清水 富雄
(自民党・西区)



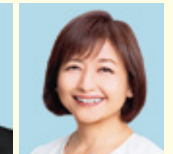
○山田 一誠
(自民党・鶴見区)



田野井 一雄
(自民党・港南区)



松本 研
(自民党・中区)



市来 栄美子
(公明党・都筑区)



中山 大輔
(立憲党・神奈川区)



田中 紳一
(維新会・神奈川区)



横溝 じゅん子
(国民主・金沢区)



関 嵩史
(横浜党・保土ケ谷区)



大野 トモイ
(トモイ・港北区)

市民消防委員会

人権施策、国際平和・ダイバーシティ推進、広聴、情報公開、地域支援、区政支援、窓口サービス、ごみの減量化・資源化、消防・救急、火災予防などの仕事について審査します。



◎伏見 幸枝
(自民党・戸塚区)



○伊波 俊之助
(自民党・中区)



○中島 光徳
(公明党・戸塚区)



瀬之間 康浩
(自民党・港南区)



増永 純女
(自民党・旭区)



武田 勝久
(公明党・磯子区)



かざま あさみ
(立憲党・港北区)



山浦 英太
(維新会・戸塚区)



深作 祐衣
(国民主・都筑区)



長谷川 えつこ
(長谷川・栄区)

こども教育委員会

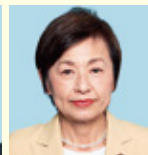
青少年育成、保育・教育、児童福祉、学校教育、生涯学習などの仕事について審査します。



◎麓 理恵
(立憲党・泉区)



○東 みちよ
(自民党・鶴見区)



○福島 直子
(公明党・中区)



白井 亮次
(自民党・都筑区)



藤代 哲夫
(自民党・神奈川区)



高橋 正治
(公明党・緑区)



伊藤 くみこ
(維新会・青葉区)



みわ 智恵美
(共産党・港南区)



谷田部 孝一
(無所属・金沢区)



斉藤 達也
(斉藤達・緑区)



興石 かつ子
(無所属・栄区)

福祉委員会

地域福祉、障害者福祉、高齢者福祉、健康増進、疾病予防、食品衛生、感染症対策、医療政策、地域医療、市立病院の経営などの仕事について審査します。



◎斉藤 伸一
(公明党・保土ケ谷区)



○青木 亮祐
(自民党・保土ケ谷区)



○いそべ 尚哉
(維新会・都筑区)



佐藤 祐文
(自民党・港北区)



鈴木 太郎
(自民党・戸塚区)



関 勝則
(自民党・磯子区)



竹野内 猛
(公明党・金沢区)



高田 修平
(立憲党・南区)



熊本 ちひろ
(国民主・南区)



大和田 あきお
(共産党・戸塚区)



荻原 隆宏
(横浜風・西区)

GREEN×EXPOみどり委員会

脱炭素化、横浜グリーンエクスポ、上瀬谷のまちづくり、環境保全、農業振興、公園の整備・管理などの仕事について審査します。



◎川口 広
(自民党・瀬谷区)



○鴨志田 啓介
(自民党・緑区)



○坂井 太
(維新会・金沢区)



磯部 圭太
(自民党・保土ケ谷区)



おさかべ さやか
(自民党・青葉区)



尾崎 太
(公明党・鶴見区)



久保 和弘
(公明党・瀬谷区)



花上 喜代志
(立憲党・瀬谷区)



二井 くみよ
(国民主・磯子区)



古谷 靖彦
(共産党・鶴見区)



梶村 充
(市民党・泉区)

まちづくり委員会

都市計画の策定、市街地開発事業、基地対策、住宅政策の調整、建築物の確認、開発の許可、道路や橋りょうの整備、交通安全対策、総合交通計画、放置自転車対策、駐車場対策などの仕事について審査します。



◎長谷川 琢磨
(自民党・都筑区)



○小松 範昭
(自民党・神奈川区)



○坂本 勝司
(国民主・戸塚区)



酒井 誠
(自民党・港北区)



渋谷 健
(自民党・南区)



安西 英俊
(公明党・港南区)



木内 秀一
(公明党・旭区)



森 ひろたか
(立憲党・保土ケ谷区)



柏原 すぐる
(維新会・鶴見区)



白井 正子
(共産党・港北区)



田中 ゆき
(田中ゆ・青葉区)

上下水道交通委員会

下水道・河川の整備・管理、水源の保全、水質管理、水道施設の更新・耐震化、市営バス路線の整備・運行管理、市営地下鉄の建設・運行管理などの仕事について審査します。



◎大山 しょうじ
(維新会・港北区)



○福地 茂
(自民党・港北区)



○横山 勇太郎
(自民党・泉区)



佐藤 茂
(自民党・旭区)



渡邊 忠則
(自民党・鶴見区)



望月 康弘
(公明党・港北区)



越久田 記子
(立憲党・緑区)



宇佐美 さやか
(共産党・神奈川区)



山田 桂一郎
(横浜党・港南区)

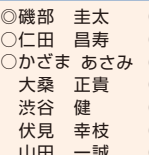


太田 正孝
(太田・磯子区)

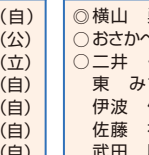
特別委員会

市政の特定の問題に関する調査・研究を行い、委員間の意見交換や事例視察、参考人意見聴取などから調査・研究結果を議長に報告します。

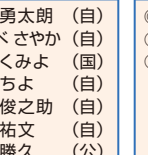
特別市・大都市行財政制度特別委員会(15人)



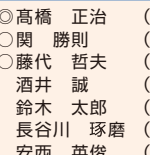
◎磯部 圭太 (自)



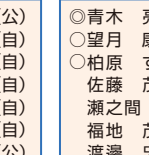
○仁田 昌寿 (公)



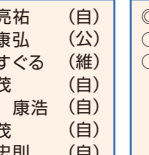
○かざま あさみ (立)



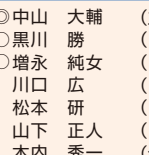
大桑 正貴 (自)



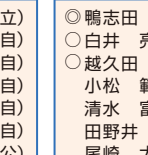
渋谷 健 (自)



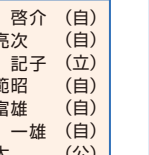
伏見 幸枝 (自)



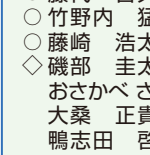
山田 一誠 (自)



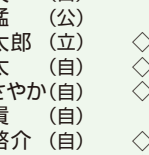
横山 正人 (自)



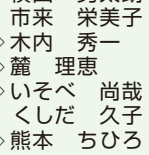
久保 和弘 (公)



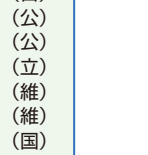
斉藤 伸一 (公)



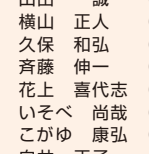
花上 喜代志 (立)



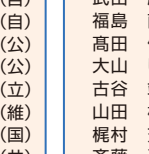
いそべ 尚哉 (維)



こがゆ 康弘 (国)

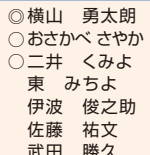


白井 正子 (共)

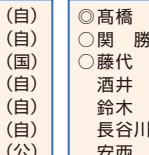


荻原 隆宏 (風)

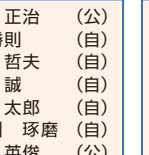
基地対策特別委員会(14人)



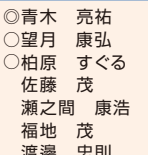
◎横山 勇太郎 (自)



○おさかべ さやか (自)



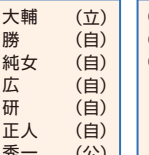
○二井 くみよ (国)



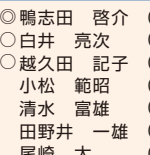
東 みちよ (自)



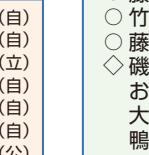
伊波 俊之助 (自)



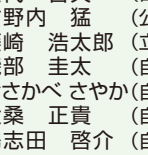
佐藤 祐文 (自)



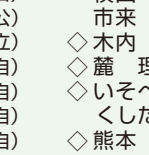
武田 勝久 (公)



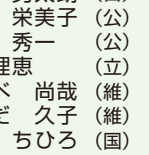
福島 直子 (公)



高田 修平 (立)



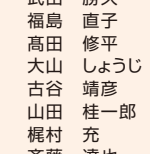
大山 しょうじ (維)



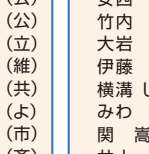
古谷 靖彦 (共)



山田 桂一郎 (よ)

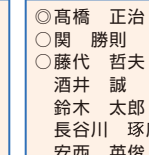


梶村 充 (市)

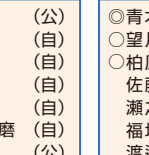


斉藤 達也 (斉)

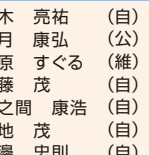
減災対策推進特別委員会(14人)



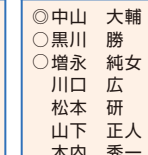
◎高橋 正治 (公)



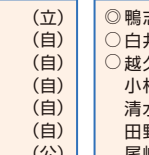
○関 勝則 (自)



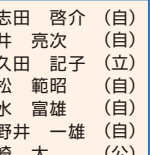
○藤代 哲夫 (自)



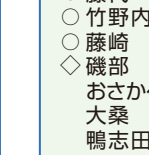
酒井 誠 (自)



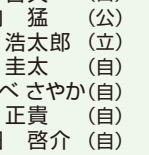
鈴木 太郎 (自)



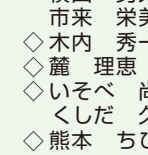
長谷川 琢磨 (自)



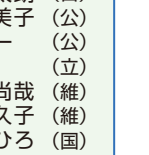
安西 英俊 (公)



竹内 康洋 (公)



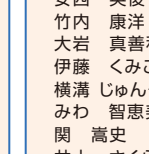
大岩 真善和 (立)



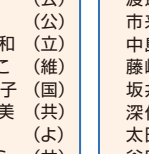
伊藤 くみこ (維)



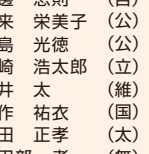
横溝 じゅん子 (国)



みわ 智恵美 (共)

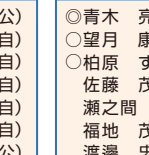


関 嵩史 (よ)

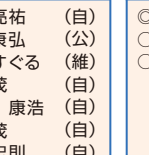


井上 さくら (井)

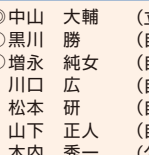
未来のまちづくり推進特別委員会(15人)



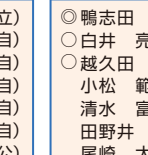
◎青木 亮祐 (自)



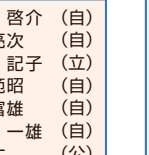
○望月 康弘 (公)



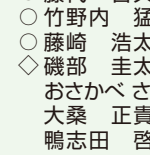
○柏原 すぐる (維)



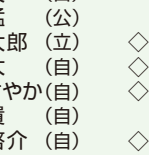
佐藤 茂 (自)



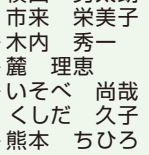
瀬之間 康浩 (自)



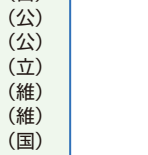
福地 茂 (自)



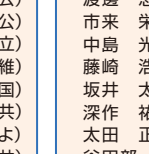
渡邊 忠則 (自)



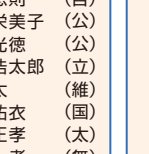
市来 栄美子 (公)



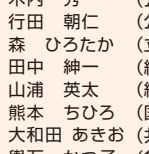
中島 光徳 (公)



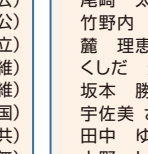
藤崎 浩太郎 (立)



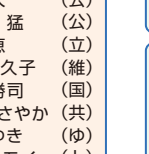
坂井 太 (維)



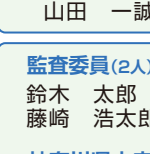
深作 祐衣 (国)



太田 正孝 (太)

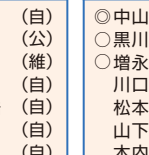


谷田部 孝一 (無)

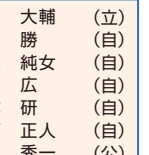


長谷川 えつこ (え)

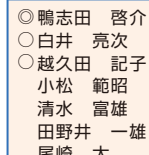
次世代活躍推進特別委員会(14人)



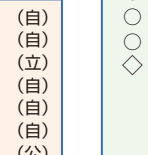
◎中山 大輔 (立)



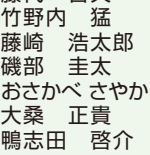
○黒川 勝 (自)



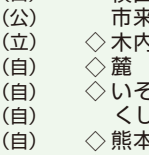
○増永 純女 (自)



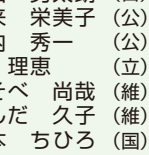
川口 広 (自)



松本 研 (自)



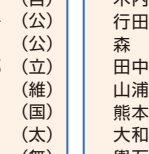
山下 正人 (自)



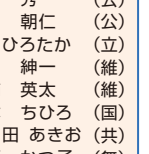
木内 秀一 (公)



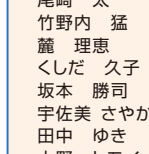
行田 朝仁 (公)



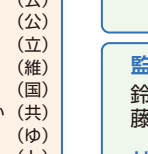
森 ひろたか (立)



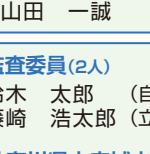
田中 紳一 (維)



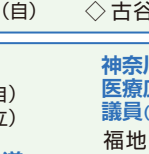
山浦 英太 (維)



熊本 ちひろ (国)

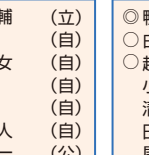


大和田 あきお (共)

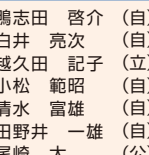


興石 かつ子 (無)

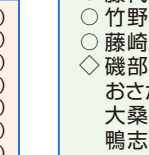
市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会(14人)



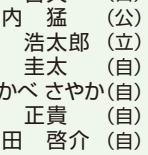
◎鴨志田 啓介 (自)



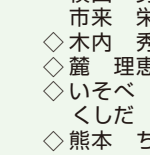
○白井 亮次 (自)



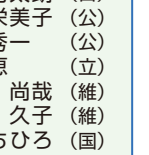
○越久田 記子 (立)



小松 範昭 (自)



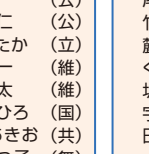
清水 富雄 (自)



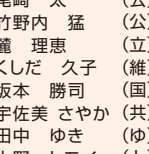
田野井 一雄 (自)



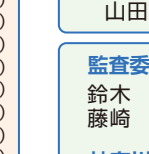
尾崎 太 (公)



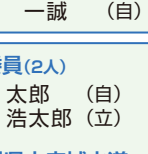
竹野内 猛 (公)



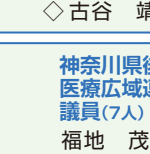
麓 理恵 (立)



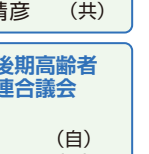
くしだ 久子 (維)



坂本 勝司 (国)



宇佐美 さやか (共)



田中 ゆき (ゆ)

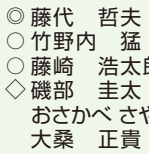


大野 トモイ (ト)

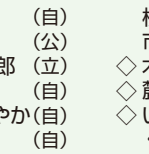
市会運営委員会

16人

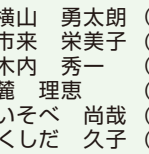
定例会の日程や議会の運営方法を決定するとともに、市会に関する条例等の議案や、請願・陳情などを審査します。



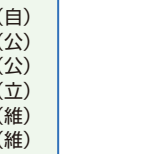
◎藤代 哲夫 (自)



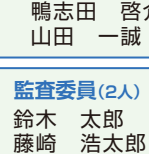
○竹野内 猛 (公)



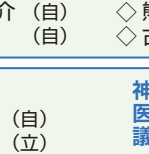
○藤崎 浩太郎 (立)



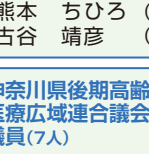
◇磯部 圭太 (自)



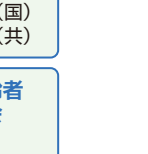
おさかべ さやか (自)



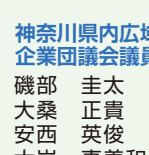
大桑 正貴 (自)



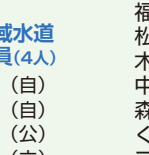
鴨志田 啓介 (自)



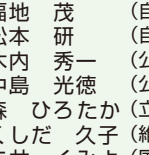
山田 一誠 (自)



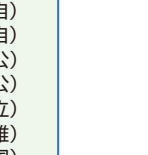
横山 勇太郎 (自)



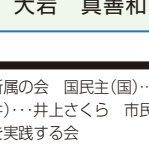
市来 栄美子 (公)



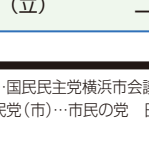
◇木内 秀一 (公)



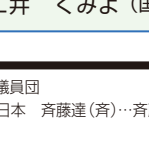
◇麓 理恵 (立)



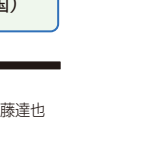
◇いそべ 尚哉 (維)



◇くしだ 久子 (維)

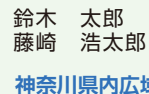


◇熊本 ちひろ (国)

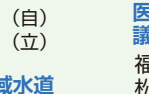


◇古谷 靖彦 (共)

監査委員(2人)

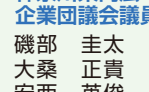


鈴木 太郎 (自)

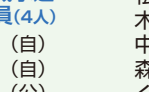


藤崎 浩太郎 (立)

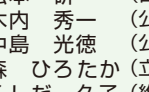
神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員(7人)



福地 茂 (自)



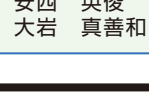
松本 研 (自)



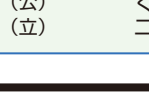
木内 秀一 (公)



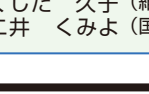
中島 光徳 (公)



森 ひろたか (立)



くしだ 久子 (維)



二井 くみよ (国)

令和8年第3回市会定例会の日程

日程は市会ウェブサイトを確認してください。

横浜市区画 日程 検索



問合せ 議会局秘書広報課

☎045(671)3040 📠045(681)7388

✉gi-kouhou@city.yokohama.lg.jp

